

倫理 授業 イントロダクション ワークシート

1. 今日のテーマ・クエスチョン

「倫理を学ぶ」とはどのようなことか？

2. テーマ・アンサーのキーワードを次の語群の中からピックアップ 語群：ソクラテス 孔子 サルトル 道すじ なかま 自由 責任

☆彡 テーマ・アンサー① 「人間とは何か？」について考えること

私たちは「人間」として生きている。では、その「人間」とは何なのだろうか？ 人は争い、憎しみあうこともあれば、また、手をさしのべ、支えあい、愛しあうこともある。フランスの哲学者（ 1 ）は、人間が（ 2 ）であるということは、人間が何であるかという定義があらかじめ定まっていなかったことであり、人間はみずから選ぶところのものになる、と語っている。人間はみずから選んだ生き方とおして、自分が何であるかに答え、その選んだ自己のあり方に（ 3 ）を負わなくてはならない。みずから強く生きた人間は強い人になり、優しく生きた人間は優しい人になる。また、その逆の場合もあるだろう。人を愛することができるか、憎むことしかできないか、また、未来を信じて進むことができるか、過去にとらわれて立ちどまるか、私たちがどのような人間になるかは、これからの自分の生き方にかかっている。

☆彡 テーマ・アンサー② 先人の思想から学ぶこと

過去に生きた先人たちも、「人間はいかに生きるべきか」についてさまざまに考えてきた。古代ギリシアの哲学者（ 4 ）は、「人間はただ生きるだけでなく、善く生きることが大切である」と語り、「善く生きる」とは何かを探究した。そのような先人の教えは、私たちが人生を考えるうえでの指針になる。一方で、古代中国の（ 5 ）は、「過去の教えを学んでも自分自身で考えなければ、はっきりとわからないし、自分で考えるだけで過去の教えを学ばなければ、独断におちいって危険だ」と説いている。先人たちの思想を学びながら、私たちが自分の生き方を振り返り、人間としての生き方・あり方を主体的に問いかけていくところに、倫理を学ぶ意味がある。

☆彡 テーマ・アンサー③ 「人間」にふさわしいあり方・生き方を探究すること

「倫理」という言葉の「倫」とは、「（ 6 ）」のことである。そして「理」とは、「（ 7 ）」のことをさす。つまり、「倫理」とは人類の永年の経験が積み重なってできあがった、人間集団の規律やルールのことであり、「人間」として生きるべき道すじ、「人間」に値する生き方のことである。これから、「人間」の生き方についての先人の思想を学びながら、一人ひとりが自分自身の生き方を振り返り、「人間」にふさわしいあり方・生き方、すなわち「倫理」とは何かを探究していこう。

<キーワード記入欄>

1 () 2 () 3 () 4 ()
5 () 6 () 7 ()

[] 年 [] H No. [] 氏名 []

☆ MT (=向出ティーチャー) の考える「3つの自由」(ニセモノとホンモノ) について

1. 自分勝手という自由 = (1) での自由

ex. どこにでもゴミを捨てる自由 = ニセモノの自由

○ では、ホンモノの自由とは何だろうか？

それは、社会性という自由。今ある社会に適応できることに加えて、よりよい社会を構想し、その実現のために、他者とコラボレーションできる「(2)の自由」

2. 何もしない自由 = (3) での自由

ex. 一日中寝て暮らす自由 = ニセモノの自由

○ では、ホンモノの自由とは何だろうか？

それは、自律という自由。樂をしたい、怠けたいという弱い自己を克服できる「(4)の自由」

3. 何も考えない自由 = (5) での自由

ex. 命じられるままに敵を殺す自由 = ニセモノの自由

○ では、真の自由とは何だろうか？

それは、主体性という自由。正義と不正義、善と悪を自分で判断して行動できる「(6)の自由」

< 記入欄 >

1 () 2 () 3 () 4 ()
5 () 6 ()

☆ 倫理を学ぶことには、どのような目的があるのでしょうか？

○ MTの考え その1

人間や個人の(①)について考える。そして、自分なりの答を見つける。それにもとづいて、(①)にものを考えたり行動できるようにする。

○ MTの考え その2

(①)で個性的で、カッコよく生きた(②)や(③)のことを知る。そして、自分の生き方の参考にする。

○ MTの考え その3

よりよい(④)がどのような(④)なのかを考え、よりよい(④)にするために自分(と仲間たち)がなすべきことやできることを見つける。そして、それを実現させるための方策を立てる。

< 記入欄 >

① () ② () ③ () ④ ()